

第 2 3 回 温泉関係功労者表彰候補者（50音順）

氏 名	年齢	役 職 等	功 績 概 要
あずま たけし 東 威	73	共同印刷（株）診療 所長	各種疾患における温泉療法の研究、臨床成果が知られる。特に慢性関節リウマチの物理療法として温泉療法を積極的に取り入れ、多大な成果を挙げている。また、温泉療法医会副会長として、温泉療法のエビデンス研究の進展に尽力するなど、温泉療法の普及・発展を通じて温泉の保護と適正利用の推進に大きく貢献した。
おおやままさお 大山 正雄	60	昭和女子大学非常勤 講師	神奈川県温泉地学研究所において研究調査に従事し、特に箱根、湯河原を中心とした地域の温泉に関し、温泉水の流出解析、温泉の湧出流動状況とその機構、温泉水の適正量について多くの研究が行われ、学術研究の面から温泉資源の保護と適正利用の推進に貢献した。
くろきしのぶ 黒木 忍	69	宮崎産業経営大学法 学部部長	宮崎県温泉審議会委員・自然環境保全審議会温泉部会委員として通算21年間にわたり宮崎県内の温泉の保護と適正利用の推進、特に「宮崎県温泉保護対策指導要綱」の策定に法律関係の学識経験者として尽力し、温泉行政の推進に貢献した。
しらくらたくお 白倉 卓夫	72	NPO健康と温泉フォー ム会長	循環系疾患と温泉療法についての研究と臨床成果を中心として、温泉医学の広範囲に亘る領域で研究活動を展開している。 また、健康と温泉フォーラム実行委員長として、温泉を活用した健康・保養地づくりを目指して活動を行うなど、学術研究及び普及啓発活動を通して温泉資源の保護と適正利用の推進に貢献した。
すがい よしろう 菅井 芳郎	68	沢渡温泉病院名誉院 長	高血圧、腎疾患、脳卒中の後遺症のリハビリテーション及び生活習慣病の予防対策として温泉療法を積極的に取り入れ、地域の人々に医療を通して温泉の有用性、保護の必要性の啓発に尽力。また、循環系疾患と温泉療法についての研究に成果を挙げるなど温泉の保護と適正利用の推進に大きく貢献した。
てらにし きよし 寺西 清	60	（社）全日本検数協 会 顧問	兵庫県衛生公害研究所において研究調査に従事し、特に、有馬温泉の湧出機構を解明し、特に炭酸の起源は古生代丹波層群のカルサイトであることを明らかにするなど、温泉水の機器分析を通じて、温泉の湧出機構や資源の特徴を明らかにし、学術研究の面から、温泉資源の保護と適正利用の推進に貢献した。
のくち つとむ 野口 邁 （筆名： のくちふゆと 野口冬人）	71	（株）現代旅行研究 所 代表取締役	旅と温泉をテーマとした研究・出版・執筆を展開し、著書多数（「全国温泉大辞典」など）。 全国3,000ヶ所の温泉を踏査した自らの体験をもとに、湯治場について雑誌に連載を行うとともに、「温泉療養の会」を主催し、温泉療養についての情報交換やアドバイス活動を行っており、温泉の適正利用の普及啓発の推進に貢献した。
ひろかわのぶひこ 廣川 允彦	66	（社）日本温泉協会 副会長	昭和54年以来、（社）日本温泉協会の役員として、温泉資源の保護と適正利用に係る普及啓発を行うとともに、栃木県温泉保護開発協議会連合会評議員及び那須町温泉保護開発協会会長として、温泉資源の保護及び適正利用に尽力し、温泉行政の推進に寄与した。

氏名	年齢	役職等	功績概要
ふせまさよし 布施 正美	73	布施医院院長	群馬県草津温泉において、医院を営み、温泉療法を積極的に取り入れ、長年に亘り、地域の人々に医療を通して温泉の有用性、大切さを啓発するとともに、草津温泉を中心に群馬県の温泉の気候や湯治者の実態調査を行うなど温泉の保護と適正利用の推進に大きく貢献した。
ふかさわよしのぶ 深澤 喜延	60	前山梨県衛生公害研究所管理幹	山梨県衛生公害研究所において、温泉水の分析調査、分析法の研究、療養泉等泉質やその経年変化の解析、鉱泉試験法の解説を行うとともに、環境省（庁）の各種検討委員として、温泉分析法の策定などの調査研究に従事し、学術研究の面から、温泉資源の保護と適正利用の推進に貢献した。
やまくちのぶひろ 山口 宣弘	67	（社）山形県温泉協会副会長	天童温泉協同組合役員及び（社）山形県温泉協会にて永年に亘り、山形県内の温泉の保護と適正利用の普及啓発に尽力した。 また、山形県自然環境保全審議会委員（H9～11）として、温泉の保護と適正利用の推進に尽力し、温泉行政の推進に貢献した。
よしざわよしのり 吉澤 義則	65	和歌山県環境審議会温泉部会長	和歌山県温泉審議会委員・自然環境保全審議会温泉部会委員として通算24年間にわたり和歌山県内の温泉の保護と適正利用の推進に尽力し、温泉行政の推進に貢献した。
わたなべはじめ 渡辺 権	69	静岡県温泉協会副会長	静岡県温泉協会（賀茂支部）にて賀茂地区の温泉実態調査のとりまとめを担当。また地域の「温泉保護対策」を作成するなど、静岡県内の温泉の保護と適正利用の普及啓発に尽力した。 静岡県自然環境保全審議会委員、静岡県自然環境保全審議会特別委員として、温泉の保護と適正利用の推進に尽力し、温泉行政の推進に貢献した。
社団法人 宮城県温泉協会	-	-	昭和47年1月の発足以来、宮城県内の温泉の保護及びその適正利用を行うとともに各種研修会等を実施し、温泉の適正利用等の普及啓発及び温泉行政の推進に貢献した。